

Editor: Tom Toriyama, 6-14-11-205, Ohzenji-nishi, Asao-ku, Kawasaki, 215-0017 Tel 044-577-5231

RSCDS 100th Anniversary Dance



9月30日(土)午後、日暮里サニーホールにおいて埼玉・東海・東京3ブランチ合同による上記ダンス会が行われ、202名という大勢の参加がありました。小海弘子さんのピアノ、大森ヒデノリさんのフィドルは終始快調で参加者全員が楽しみ、最後の Flowers of Edinburgh が終わったとき、これで解散するのがとても惜しい気持ちでした。参加者ならびにスタッフのみなさん、ありがとうございます。

(p.5につづく)

(写真提供：大江佳子さん)

ブランチ・クラス

千代田区立スポーツセンター多目的室

11月19日(日) 1:30-4:00 講師 クレメント篤子

12月17日(日) 1:30-4:00 講師 寺久保ヒロ子

お問合せ：担当 渋谷明美 047-351-8581 or
寺久保ヒロ子 03-3801-6139

クラスに珍しいお客さま

8月12日(土)のブランチクラス(講師：小杉由美子さん)に、イタリア・ミラノのグループから佐野さつきさん、オクスフォード・ブランチからリン・ヤン Lingyi Yang さんが来場されました。お二人とも日本旅行の合間に東京でも踊りたいとやってこられ、クラスはとても楽しかったとのことでした。

本部会費 ¥5,600 に？

— 11月4日 本部年次総会 —

グラスゴーにおける本部年次総会で、本部は年会費を£2値上げして£28にすることを提案しています。可決されれば次年度の本部会費は約¥5,600になります。また、近年のジェンダー・ニュートラル化に合わせ、本部規約の用語「チェアマン」を男女両性の中立語「チェア」に変えるという提案も(チェアだけでも議長職を意味します)。そして、東海ブランチ前チェアマン小山芳樹さんが長年の貢献・功績を称えられ、Scroll of Honour 功労賞を受賞されます。おめでとうございます。



前列左2人目から佐野さん・小杉さん・ヤンさん



8月19日(土)にBook 53 ダンス講習会が行われ、42名が参加しました。トム鳥山さんの指導でVolume 1 CDの12ダンス中、10ダンスを青山るりさんの音楽で講習しました。インターナショナル・ブランチの元チェアマン、ジャン・ジョーンズさんと現チェアマンのマイケル・ダービーさん、音楽も素敵でトムの指導は分かりやすかったとのこと、みなさんは?

ブランチ 40 周年記念ウィークエンド

2024年1月19日(金) - 21日(日)

鎌倉プリンスホテル(江ノ電七里ヶ浜駅8分)

講師: ジム・ストット & クレメント篤子

ミュージシャン: 大森ヒデノリ & 小海弘子

詳しくは同封の「Weekend 2024のご案内」を。



ジム・ストット (2022年サマースクール)

ジムは2020年からわがブランチでの指導を望んでおり、4年ぶりの実現をととても喜んでます。ミュージシャンでもあり、すでにToshogu Shrine (8x32J), Welcome to Japan (8x32S), The Nikko Falls (4x32R SQ), A Trip to Kamakura (8x32S), Sagami Bay (8x32J) など自作ダンスを準備済み。ウィークエンドではこれらのダンスが中核になるのではないのでしょうか。

運営委員会報告

2023.8.4 (港区生涯学習センター。以下同じ)

- 8/19 Book 53 ダンス講習会で参加者への資料として「Book 53 ダンスのあれこれ」を渡す。
- 9/30の3ブランチ合同ダンス会、手持ちプロ制作は辰巳由利子さんをお願いする。9/12の会場側との最終打

ち合わせに寺久保委員とチェアマンがのぞむ。

- Weekend 2024 第2日目、雨天の場合を考え午後にクレメント篤子さん指導によるカントリー・ダンシング・クラスを参加自由で行う。
- 2024年は年初にWeekendを行うが、10~11月になんらかの行事を行うべきかもしれない。その場合の会場取りなど現委員会で準備することに留意する。
- Book 53 と CD は価格上昇により申し訳なくも追加のご送金をお願いすることになったが、事情理解いただき、ほとんどの方から入金済み。

2023.9.1

- 8/19 Book 53 ダンス講習会はおおむね好評。ミュージシャンは事前にウォームアップが必要だが、今回はその時間がなかった。次の機会には必ずこの時間をとることにする。収支は△¥8,415。
- 9/30の3ブランチ合同ダンス会の集合時刻、費用精算時期などを決めた。
- Weekend 2024、参加費用¥55,000(東京ブランチ会員は¥52,000)とする。海外からの参加者は当日受付で日本円で支払っていただく。ジム一行の出迎え・引率、MC・通訳の人選は次回以降の委員会で話し合う。
- 東海ブランチから、小山芳樹さんのRSCDS 功労賞受賞祝賀パーティを11/23東京で、同会員に限定せず開きたいとの申し入れあり。『東海ブランチ会員を対象として開催してほしい、ただしともに祝賀したいという東海ブランチ以外の人たちの参加を妨げない』で回答することとした。
- 8/20の3ブランチ連絡会で、Unit 1 受験申込者は東京ブランチ会員のみ、と試験実施主管の東海ブランチから連絡あり。東京ブランチとして人・場所・金でどのように支援すべきかを東海ブランチに問い合わせる。

2023.10.6

- 9/30の3ブランチ合同のRSCDS 100th Anniversary Danceは大成功。合同の行事実施は今後の課題。拠出

金（準備金）差し引き後の収益は1 ブランチあたり約 ¥44,000 で、拠出金の返金と合わせ他ブランチに直ちに送金する。

- ・ Weekend 2024 の各役割について担当候補を話し合った。11月に委員会でダンス・プログラムを決める。
- ・ 来年3月9日の Unit 1 試験はわがブランチ担当となりオーガナイザーや2名の試験監督者を決めた。12/16が本部への実施申請期限。
- ・ 2023年2月に会員にご案内したプレトリア・ブック、未だ到着しておらず申し訳ない。待つほかないのが残念。

クラスで踊られたダンス

8月12日 小杉由美子

The Lincoln Imp	32J	MacCuish - Bark
Bydand	32S	Drewry

The Fireworks Reel	32R	Book 48
Orwell Lodge Strathspey	32S	Queen Dia Jubilee
Lost in Edinburgh	32R	Comings
9月17日 小幡正明		
Hoop Her and Gird Her	32R	Border Book
Rothesay Country Dance	48J	Book 6
Pinewoods Reel	32R	Book 53
Miss Jeannie Carmichael	32S	Sverdlove & +32R Gruskin
The Punch Bowl	32R	Book 5
10月8日 小山かおる		
Airyhall Delight	32J	Book 40
Ysobel Stewart of Fish Hoek	32S	Book 52
Sleepwalking	32R	Giacoletti
Lady Peak's Strathspey	32S	Drewry
The Goat Fell Gallop	32J	Goldring

スコティッシュ・カントリー・ダンスにおけるエチケット—RSCDS のガイド

— 2023.8.31 本部 email 付録 —

私たちは、みなさんにダンシングで楽しい時間を過ごしてもらいたいと願っている。安全・快適なダンスの場を作るため、RSCDS が手助けできる方法をいくつか紹介する。

1. すべての人を受け入れること。

ここはすべての人の場所である。

私たちは、経験に差があってもすべてのダンサーとミュージシャンが、さまざまな行事で快適・安全を感じとることを望んでいる。私たちは、性別/性自認、人種、民族、性的指向、障害、宗教、体の外観、職業の種類に関係なく、すべての人を歓迎している。

女性サイド、男性サイドまたはその両方。

RSCDS はすべてのダンサーがダンスの両サイドでダンシングできることを奨励している。みなさんは一方のサイドで踊ることを好むかもしれないが、どちらのサイドでも踊れるというのは有用なスキルである。あなたが踊ってくれませんか頼むとき、混乱を避けるために、あなたはその人がどちらのサイドで踊るのを好むかを尋ねた方がよい。

2. 敬意をはらうこと。

批評しないこと。

特に求められない限り、ソーシャル・ダンスのフロアで、他人のダンシングを直そうとしないこと。クラスではティーチャーに任せること。

言葉に気を付ける。

不適切な表現をしない。性差別的・嫌同性愛的な言葉、性不同一を侮蔑する言葉、障害者・人種をばかにする言葉を使ってはならない。

3. ダンスを安全に

ダンス・フロアに目を広げ、周りのダンサーやセットに注意する。誤って誰かにぶつかったり当たったりしたときは、ごめんなさいと言って、相手が大丈夫であることを確認す

る。

バリエーションは安全に。

多くの人は、バール、トワール、スピンなどのバリエーションを楽しんでいるが、よく知っているダンスで、ぶつかったり迷子になったりするのを好む人は誰もいない。バリエーションを加えることができるのは、音楽フレーズ内（たとえば4小節内）で安全に踊ることができ、セット内の他の人が、そのバリエーションで混乱しないことが確実な場合のみである。他のダンサーを巻き込んでバリエーションをやる必要がある場合は、事前にその人たちの同意を得ること。

4. 他の方の立場を尊重する。

常に人々の個人的な立場を尊重すること。人はみな違っている。あなたがみんなを不快にさせていると誰かがあなたに言ったら、個人的な場所で耳を傾け、要望に配慮すること。

互いに気をつける。

嫌がらせを受けたり、不快を感じたりした場合は、すぐにイベント主催者に連絡する。気分の悪い人、または体調不良らしい人を見かけたら、大丈夫かどうかを尋ね、その人があなたの助けを必要としているかどうかを確かめる。ノー（何もしない）はノー（ダメ）を意味することを忘れない。

ノーと言っても大丈夫。

その人と踊りたくない場合は、「ごめんなさい」と言うことができ、理由を説明する必要はない。そのあと、別の誰かと踊りたいのならその人に「どうですか」と尋ねてもよい。あなたはいつ、誰とでも、踊るのをやめることができる。

ノーと言われたとき。

踊りに誘ったがノーと言われても、その人に悪感情をもつてはならない。あなたと踊る義務は誰にもないのだから。

草創期の RSCDS クリス・ロナルド (インターナショナル・ブランチ)

20 世紀におけるカントリー・ダンシング・リバイバル

セシル・シャープ*は 1909 年出版の“The Country Dance Book”で「今日の村では、ポルカ、ワルツ、カドリールが昔のカントリー・ダンスやジグに着実に取って代わられている」と嘆いている。The Country Dance Book は、現在および将来の世代のために、イングリッシュ・カントリー・ダンスを収集し、保存することを目的としたシリーズ本の最初のものであった。イングリッシュ・ダンスは、新しい風潮のガール・ガイド運動で熱狂的に取り上げられた。(*English Folk Dance and Song Society / EFDSS の創立者で、イングリッシュ・ダンス界においては RSCDS におけるミス・ミリガンを超える存在の人)

スコットランドにおけるカントリー・ダンシング

ミセス・イザベル・スチュアート (アーガイル地方の貴族の娘) は、第 1 次大戦後数年にわたり、スコットランドにおけるガール・ガイド運動に積極的にかかわった。彼女は運動の中でいくつかの役割を担い、1920 年から 1927 年まで訓練部門長をつとめた。

彼女は少女たちがイングリッシュ・ダンスを学んでいることに気づき、アーガイルで育ったときに踊ったようなスコティッシュ・ダンスを彼女たちにも踊ってほしいと思った。彼女はいろいろなダンスを手書きし、パターンソング音楽出版社の重役、ジェームズ・マイケル・ダイアクに送った。ダイアクはまた、グラスゴー学区の音楽監督であり、スコットランドの音楽界で著名な人物だった。

ダンスのテクニックに関しては、ダイアクはスチュアート夫人に、ミス・ミリガンと連絡を取りあうよう勧めた。ミス・ミリガンはグラスゴーの体育教師で、生徒にカントリー・ダンスを教え、フェスティバルでカントリー・ダンスのパフォーマンスを演じさせたりしていたのである。そのダンスの中には Blue Bonnets や Flowers of Edinburgh もあった。

SCDS の設立

スチュアート夫人とダイアクは、ダンスを普及させるには出版物の形をとるべきと考え、そのためには何らかの組織が必要であり、1923 年 11 月 26 日にスコティッシュ・カントリー・ダンス・ソサエティ SCDS の設立会議が開かれた。開催場所はグラスゴーのアサニーアム (文芸協会) で、のちにスコットランド・ロイヤル芸術学院となった。ミス・ミリガンは 27 人の同志を伴った。

本を制作するほか、ダンスを学べるクラスを複数設ける方策も決定された。この作業は精力的に進み、1928 年までに、SCDS にはすでに 10 のブランチと 1,500 人の会員がいた。各会員は 5 シリングの年会費を支払い、無料で新しいブックを受け取った。この年会費額は 1967 年まで変わらなかった。

古文書の調査

SCDS の創立時には数少ないダンスが知られるのみだったが、SCDS はスコットランドを回ってダンスを収集し、カントリー・ダンスがボールルームを支配していた 18 世紀から 19 世紀初頭にさかのぼる、古い本や写本からダンスを探す努力をした。

アレマンド

しかしながら、古いダンス説明書はじつに暗号的であり、その解釈に苦労した。典型的な例が、Book 2 の Delvine Side で初めて現れたアレマンドである。歴史家は、「アレマンド」は当初、ヘンリー 3 世の時代にさかのぼる、1 カップルの落ち着いたダンスであったと述べている。これはまた、18 世紀から 19 世紀初頭に書かれたイングリッシュとスコティッシュのダンス・マスターの作品におけるアレマンドに関する説明でもある。

アレマンドはしばしば腕の絡み合いを伴うようである。この図は、1771 年にフランスで出版された本のアレマンド・ポジションを示す 1 つの例である。別の本には、パートナーの周りを単に回るだけのダンサーたちが描かれている。アレマンドには様々な形があったが、RSCDS の踊りに見られる、プログレッションの一形式であったという記録はない。アレスター・マクファジェンは RSCDS マガジンの 2007 年 10 月号でそれについて書き、今ではおなじみの RSCDS アレマンドは、1926 年にエジンバラで開催された会議で、既存の 6 つのブランチの代表者によって決定されたと説明している。私たちのアレマンドはむかしのものとは異なるかもしれないが、テリー・グラスプールによって考案されたサーキュレーティング・アレマンドのように、興味深いバリエーションを生み出した人気のあるムーブメントである。



これからのスコティッシュ・カントリー・ダンシング

著書「Modern Ballroom Dancing」の中で、ビクター・シルベスターは、第 1 次世界大戦の前後、フランスのバレエの足のポジションをめぐって若者が異議を唱え、ボールルーム・ダンシングで起こった騒動を振り返っている。彼はつぎのようにコメント→

RSCDS 100th Anniversary Dance (つづき)



女性用ベストの忘れ物あり。お心当たりの方は小杉由美子 047-468-8520 まで



→している。「ダンスは万物と同様、発展するか消滅するものである。不変のままであってはならない。ダンスが標準化されすぎ、それ以上の発展ができなくなった瞬間、消滅日のカウントダウンが始まる」。

同様に、アレスター・マクファジェンは記事を次のように締めくくっている。「ダンスには絶対的なものはほとんどなく、ダンスのあらゆる面と同様に、私たちのソーシャル・ダンシング特有の形とスタイルは、絶えず進化するプロセスの産物である。スコティッシュ・カントリー・ダンシングの確実で永続的な未来を保証するため、確固とした努力を続けるときには、この事実を常に念頭に置くことをお勧めする」。(TACTALK 65th Anniversary Issue, July 2023)

1-1 The Lochalsh Reel (R40 3C)

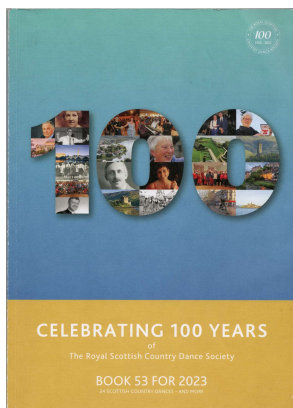
スカイ島ブランチのパット・バーネットのリール。Lochalsh はロハルシュと読み、スコットランド本土とスカイ島間の海峡の名で、入口の一番狭いところにスカイ・ブリッジが架けられている。2001 年に出版されたダンスで、いまとなってはそれほど目新しさはないのではないかな。

1-2 The Water of Leith (S32 4C)

エジンバラの北を流れるリース川である。今では小川だが、産業革命前後には豊かな水量で両岸には紡績業、製粉業などの水車が並んでいたという。この川に Dean Bridge が架けられている。ダンスはジョン・ウィルキンソン作で、エジンバラ 90 周年ブック (2014 年 12 月に紹介済み) 中のストラスペイ。セットの真ん中で 1C と 3C が reel of four を含んだ 16 bars を踊り、最後に 1C と 4C の espagnole がある。ジョンの Eileen Watt's Reel よりも踊りやすいと思う。

1-3 The Galloping Carousel (J32 4C)

カルーセルでもよいし、カルーゼルと濁ってもよい。オタワ・ブランチのやや古い踊りで、あまりに簡単のため、一度踊ればあと 7 年は踊らなくてよい、ともいえる。もう少しコクのあるジグを Book 53 に入れてほしかったという思いである。ビギナーズ・クラスで hands across を紹介するときに適している。



1-4 Elspeth Gray's Reel (R32 3C)

ミセス・スチュアート、ミス・ミリガン、ミス・ハドゥン、ミス・ギブソンなど本部セクレタリを長く務めた人にはその名を冠したダンスが作られている。だが 14 年も本部で勤め上げたのに、エルスペースに捧ぐというダンスはない。ではトムが、というわけで彼女にちなんだタイトルにした。最初の 16 bars は The Sailor (Book 24) にそっくりであるが、bars 5-6 を右手ターンにし、踊りやすくした。Bars 17-24 の 1/2 diagonal mixed chain は、面白いと思われるかそれとも奇をてらいすぎか、というところである。ミュリエル・ジョンストンのオリジナル曲も作者としては気に入っている。

1-5 Something in the Air (S32 2C)

サマースクールのクラスメートに聞いたら、この Air には空と歌両方にかけての思いがあるのではとのこと。既存のフォーメーションを組み合わせて、最後に rose progression で締めくくるというワシントン DC ブランチの踊り。Bars 9-16

の 1W と 2M が左

手で 1-1/4 のターンをしたあと 1/2 poussette に入るところが面白い。Rose progression は Library of Birmingham (Book 49) に出てきたフォーメーションでストラスペイ新作に使われ始めているが、まだ一般的でない。4 小節区切りで指導するよりも、1M と 2W の動きを 8 小節連続して指導し、つぎに 1W と 2M の動きを 8 小節連続して指導、最後にこの 4 人を組み合わせて同時に踊る、という方がダンサーの理解は早いと思う。

1-6 Chased Lovers (J32 3C)

インターナショナル・ブランチのティム・ウィルソン (サンフランシスコ在住) が作ったジグ。Grassmarket Reel (2009 年マガジン・ダンス) と Linnea's Strathspey (Book 47) も彼の作品。2019 年 10 月にブランチショップで紹介したインターナショナル・ブランチ 10 周年のブック、World Wide Weaving に入っており、CD も出ている。1C はダイヤゴナルの reel of three を 1st corner と、次いで 2nd corner とタンデムで行うが、ドルフィンなしがミソ。1C はサイドに出たとき、ついついドルフィンしそうになるが、そこをぐっとこらえる必要がある。

1-7 Toast to the Mousies (R32 3C)

キース・スミスの同名の曲が気に入り、サンフランシスコ・ブランチのサラ・グラティオットが曲に振り付けた踊りである。フィドラーが作る曲は 1 小節中にたくさんの音符があるが、この曲も短音符が多く、ピアニスト泣かせの曲である。アーチくぐりは小ネズミが穴を出入りするさまを描いたものという。bar 12 で全カップルがいったんオウン・サイドに戻り、あらためて left hands across に入るところ、ならばに bar 24 で 2C と 3C は cast in するところがポイント。東京ブランチのトライアルで 1 等となり、独創性と単純性が合わさったよいリールである。ただ、3,5,7 回目の始まりに、2 回踊り終わった 1C は、任意とはいえもう一度 bars 1-4 をやるというのは、いくらか余分なような気がする。

1-8 The Orchards of Co. Armagh (S32 3S)

Co. Armagh のカタカナ表記はコー・アーマーでなく、カウンティ・アーマー (St. と書いてセントまたはストリートと言うように)。カウンティ County はアイルランド島の郡のことで、グレートブリテン島の Shire シャーに相当する。County に 1 文字 r が入るとカントリーとなり、マガジン和訳で間違いやすい単語である。45 度傾いた Mairi's Wedding Reel が 3 回あるが、45 度傾いただけでわけがわからなくなる人もいて面白い。2017 年 2 月にブランチショップで紹介したベルファスト 70 年ブックと CD が原本である。原 CD はマリアン・アンダーソン・バンドの自作自演で、今回の RSCDS 盤も悪くない。

1-9 Niles Roberts' Farewell to Pasadena (J32 3C)

サンガブリエル・バレー・ブランチのダグ・マクドナルドの踊り。Niles のカナ表記はナイルス。パサデナと隣接するサンガブリエルはロサンゼルス東にあり、中流階級が多く住む地域である。作者は 1/2 reel of four と 1/2 reels of three のつなぎはスムーズにやってくれ、と言っている。2nd corner にいる 2 人は set twice のあと 1/2 reels of three に加わる。この set twice、必要なのかと思うが、ポーッと立っていると 1/2 reels of three に入りそこね、チコちゃんに叱られるから set twice をやるのだらうと想像する。

1-10 The Falkirk Lass (S32 3C)

米東海岸、北バージニアの大御所、エレン・ブランケンのレストランで、2014 年 1 月にブランチショップで紹介した Moments in Time に入っている。スコットランドのフォルカーク（フォーカークとも）はエレンの出身地である。ミュリエル・ジョンストンの流麗な短調の曲、踊りはしごく簡単、万人向きである。

1-11 City of Stirling Reel (R32 3C)

ロイ・ゴールドリングが 2006 年にスターリング・ブランチで指導したとき、携えていったリール。同ブランチの Bannockburn 700 というブックに入っている。Bars 11-16 と 19-24 に 2:2 のスネークがある。スネークはふつう three hands across から入るが、このリールでは turn 1/2 way から。"Z" の字を下からたどる、と説明すると指導時間短縮になるのではないかな。

1-12 Portincaple Oak (S32+R32 SQ)

ポーツィンケープルはヘレンズバラの北にある村の名。ロッド・ロング（と言っても入江）に面している。同村には多くの榎の木が自生しているという。作者アン・ソーンは Homecoming Dance (2009 年マガジン・ダンス) を作った人で、このダンスは故イアン・ホールさんに捧げたものである。イアン・ホールさん（博士だった）は大学を退職したのち、マンチェスターからポーツィンケープルに引っ越した。ダブルの ladies' chain と schiehallion reel ができれば、すぐに踊れてすぐ終わるというメドレーである。ストラスペイからリールに移るとき、サマースクールクラスではみなクラップしていた。

2-4 Nottingham Lace (R96 SQ)

ノッティンガムはイングランドの真ん中、ロビン・フッドがいたというシャーウッド国有森は市の北にあり、古くから手工業的にレース編みが盛んだったが、産業革命以後機械編みレース生産の中心地となった。同ブランチのジェニー・ブラドリーが 1980 年代初めに、縦横に織り込まれる糸を表

現してつくったスクエア・リールである。ジェニーは James Senior of St Andrews (Book 42) の作者でもあるが、惜しいことに 2023 年の初春、93 歳で亡くなった。踊りは 4x24 の構成なので、トータルが同じだからといって 3x32 のリールは使わないほうがよい。

2-5 Ysobel (S32 3C)

イザベル（日本ではイゾベルだろう）。ミセス・スチュアートのファースト・ネームである。50 年前、ジョン・ドゥルーリはソサエティに頼まれて Mrs Stewart of Fasnacloch (Leaflet) を提出したが、当時の出版委員会はこれを改作し、bars 21-24 を left shoulder pass の 1/2 reel of four とした。ジョンとしては left shoulder pass の 1/2 reel of four は不本意で、このリールを見るたびにしっくりしない思いがこみ上げる、と書いている。ジョンは踊りをストラスペイに変え、オリジナルの動きに戻したのがこの Ysobel である。現本日は「申しわけない」の意味でこの踊りを 50 年後の Book 53 に取り入れたのかもしれない。

2-7 The Meeting of the Waters (R48 3C)

「天皇陛下も臨席した水問題の会議」、ではなく、ニュージーランド最長のワンガヌイ川がタスマン海に注ぐさまを表した NZ のイアン・ボイドの踊り。日本では 48 bars の踊りは好まれないが、北米や、小山芳樹さんのレポートにもあるとおり NZ、オーストラリアではバンバン踊られている。Bars 1-8 の reel of four in the across で 1W と 2M は cast から始めてくれ、というのが作者の意向。

2-10 The Willbergs of Rechberg (S40 4C)

Willberg と Rechberg はそれぞれドイツの人名（ヴィルベルク）と地名（レッチベルク）である。このダンスでは英語読みのウィルバークス、レッチバークでよいのではないかな。ドイツ南西部、シュトットガルトの東にレッチベルク町があり、同名の山（707m）がある。夫人のカリン・ウィルバークは 1986 年に本部功労賞を受賞し、ディレク・ヘインズはこれを称えて Karin's Strathspey (Graded 3) を贈った。40 bars のストラスペイは中央ドイツ・ブランチのカローラ・フィッシャー（トレスは旧姓）の作。カローラは The Aviator (Book 52) にみられるとおり、ちょっと難しいダンスを作る人で、この踊りでも凝った動きが続く。Bar 25-28 では、まず 4 hands across を始める位置を確認させ、ついで bar 25 の 1 bar でその位置に進むという指導を行ったほうがよいのではないかな。上級クラス向きの踊りである。

Baldovan はボルドーバン、Seton's はシートンズ、Inchmickery はインチミッカーリーとむこうでは発音している。

Schiehallion – Hugh Thurston – 64S + 64R

Schiehallion は、スコティッシュ・カントリー・ダンスの世界にシハリオン・リールをもたらした人気あるダンスである。挑戦的なダンスであるが、1970年代のプログラムにはいつも登場しており、しかもリカップなしであった。128小節のダンシングをみな知っていたのである。では、シハリオンはどこにあって、なぜ有名なのだろうか？



Kinloch Rannoch キンロッホ・ラノッホ町から見たシハリオン山

シハリオン山

パーズシャーにある独立峰であり、ランドマークとなっているシハリオン山（標高 3554ft, 1083m）は、こどもが山を描くときのように、とくに西側から見るとほぼ完全な円錐形をしている。その独特な形と周囲から孤立した山は遠くからも見え、遠くの山の頂からもハイカーはこの山を簡単に見つけることができる。逆に、シハリオン山の頂上からの眺めは印象的で、とくにロッホ・ラノッホを見る西側がすばらしい。



ロッホ・ラノッホを望むシハリオン山頂から西側の眺め

毎年 20,000 人がシハリオン山に登るが、その多くはピクニック気分である。登山道は最近再整備され、初めの登りはより楽になった。しかし、尾根に達すると花崗岩の巨石が連続し、歩くのが少しむずかしくなる。緩斜面の道とくらべ、非常に異なる経験となる。天気の良い日はとても楽しいが、霧のかかった状態で終わることは決してないようである（必ず雨になる？）。



東側からロッホ・トメルを望む

シハリオン山は神秘的な存在感をもつ特別な場所である。その名前は「カレドニア人の妖精の丘」を意味する。山の南面、石灰岩の低層帯は、有名な網目のような洞窟のつながりがあり、「巨人ヒロックの洞窟」と呼ばれている。

洞窟は妖精や霊媒の住みかという伝説があり、青い魔女伝説もその一つである。A.D.カニンガムの「ラノッホ物語」は彼女について身の毛のよだつような説明を加えている。「顔は寒さのせいで青ざめ、髪は霜で真っ白、骨ばった肩を包む肩掛けは冬の荒野のように灰色だった」。青い魔女はハローウィンに現れ、不用心な旅行者を捕まえて凍死させる。もう一つの伝説は、「乙女の泉」に関するもので、メーデー（5月1日）にその水を飲むと癒しの力が得られるとして、若者たちがやってくるというものである。



シハリオン山中腹にある夏の羊飼い小屋

いまは辺りなところであるが、シハリオン山の南端にあるグレン・モアはかつてちょっとした数の人が住んでいた。今日残っているのは、農業遺跡、古い羊飼い小屋、古代人の考古学的形跡（石でしるしをつけたカップ、小屋の円形跡）だけである。

地球の質量

科学の世界では、シハリオン山は「世界の重さを測った山」として記憶にとどめられている。18世紀、科学的知識と理解への探求心が、この山の斜面におけるとんでもない計測につながった。山の引っ張り重力によって引き起こされる鉛直線のズレを測ろうという提案である。その考えはシンプルだが、微小なズレをどうやったら正確に計測できるか、計測に適した孤立した山を見つけられるか、にかかっていた。ロイヤル・ソサエティ（王立協会）は「引力委員会」を設立し、最適な山を設定した。それがシハリオン山であり、すべての条件を満たしていた。急斜面をもつ対称的

な形状は、計測が山の重心の近くで行えることを意味していた。しかもシハリオン山は他の山から孤立して位置していた。



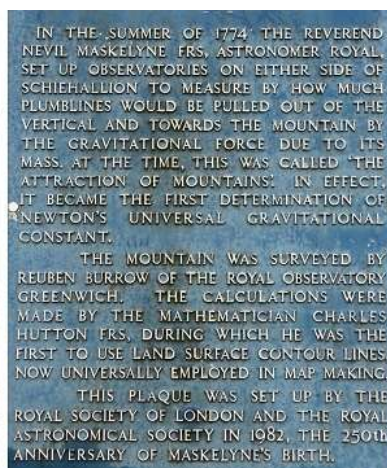
An isolated conical mountain - ideal for weighing the world

円錐形の独立峰は世界の質量計測に最適だった

シハリオン山によって引き起こされる重力のズレを確定するには、星座を正確に観測しなければならない。そこで、王立エジンバラ天文台長のサー・ネビル・マスケリンによって、北と南の斜面に天文観測所が建設された。観測所跡はいまでも見ることができるが、いささか慎重を要する場所にある。

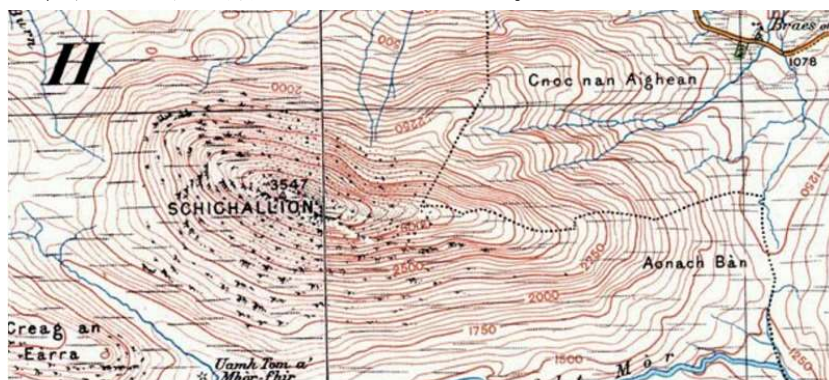


Remains of observatory on north slopes of Schiehallion
"GIS for Thought"



シハリオン山北斜面に残る観測所跡とプラーク（記念銘版）

ズレが計測されたなら、つぎはシハリオン山の質量を見積もることである。ルーベン・バローが山を測量し、そのデータを数学者のチャールズ・ハットンが解析した。ハットンは山をスライスもしくは階層化することから始めた。彼は興味あることを思いついた。みなさんが同じ高さのしるしを連続して結べば、それは3次元の形を示すことになる。これが等高線の始まりであり、すぐに地図に採用されることになった。



Reproduced by permission of the National Library of Scotland

スコットランド国立図書館の許可を得て転載

マスケリンとハットンの数値を用いて、シハリオン山を形づくる岩石の密度が見積もられ、ハットンは地球の密度を 4500 kg/m^3 (4.5 g/cm^3) と計算した。この数字は現在受け入れられている数値よりも 20% 下回っているが、1774 年に行われた計測は驚くべき成果であり、当時利用できる器材から考えれば非常に正確であった。その結果、地球の中心部は、地殻の岩石よりもはるかに密度の高い物質で構成されねばならず、ハットンはおそらく金属であろうと推測した。(伊能忠敬隊による日本地図完成は 1821 年)。数年前、学生のグループがこの計測の再現を試み、ビデオでその様子が見られる。

シハリオン山で *Schiehallion* を踊る

みなさんは、現地で *Schiehallion* を踊ったことがあるだろうか？ 息を切らして頂上に登り、スクエア・セットを作り、音楽をかけ、踊るのである。ユニコーン・ダンサーズというグループがそれをやり、ビデオに撮ったのである。その場所に関連したダンスがあって、そのダンスを踊れる挑戦的な場所はまだあるのだろうか？

マンロー・リスト

シハリオン山は、スコットランドで 3000 フィート (914 メートル) を超える山々の 1 つであるが、みなさんよくご存じのように、そのような山はマンローズ (マンローの山々) と呼ばれている。この呼び方はどこから来たのだろうか？ 19 世紀、スコットランド山岳会の設立メンバーであったサー・ヒュー・マンローは、3000 フィート以上の山を目録化し、282 の山のリストを作成した (1891 年)。当時、人々はそんなに多くないはずだと考えていたので、この数は驚きであった。ともかく、良くも悪くもマンロー卿はリストを完成し、私たちみなが知っているように、人々はこのリストが好きで、登ったかまだかなど、リストから物事をチェックするのが好きである。で、マンローの世界に取り込まれることになる。



Sir Hugh Munro

サー・ヒュー・マンロー



Cullin from Elgol

エルゴルからのクリン山群

すべてのマンロー峰を踏破することは多くの人にとって挑戦であり、一部の人にとっては執念にもなっている。(日本でも深田久弥氏の「日本百名山」の完全踏破を目指す人がいる)。ヒュー・マンローは 1919 年に亡くなったが、彼自身未踏の山が 1 つあり、リストの完全踏破はできなかった。最初の「マンロイスト (マンローズを完全踏破した人)」は、1901 年の A.E. ロバートソン師とみなされている。

すべてのマンローズに登ることができなくても、マンロー峰登山は私たちの多くが楽しめるすてきな趣味である。だが、マンロー・リストを完遂するだけでは満足できない人もいる。そういった人たちは何度も何度もやり直している。すなわち、24 時間以内につくマンロー峰を踏破できるかを競う人 (現在の記録は 30 峰)、全マンロー峰を最短で踏破しようとする人 (最短で 31 日と 23 時間) などである。

スコットランドの山々は、他の国のそれと比べ低く見えるかもしれない。しかしながら、その緯度、北大西洋と北極の気象条件に曝されることから、難度がつきまとう。天候は急変することがあり、山小屋もないため、夏でも十分に備えなければならない。もっとも難度の高いマンローズ山群の 1 つが、11 のマンロー峰を含むスカイ島のクリン山群である。ここはまた、困難な場所でダンスするという絶好の機会を提示している。そのダンスとは、Four Scottish Country Dances 1978 の *Cullins of Skye* である。

St Andrew's Day

11月30日はスコットランドの守護聖人、セント・アンドルーズ(聖アンデレ)の日として世界中で祝宴が開かれるが、では彼はどんな人だったのか? なぜスコットランドにつながっているのか? いつごろ、どこでセント・アンドルーズの日として祝いが一般化したのか? この記事がそういった疑問の答えになることを願っている。

聖アンデレとはだれか?

聖アンデレは西暦5年から10年にパレスチナのベトサイダ(ガリラヤ湖の北岸の町)で生まれ、兄のシモン・ペトロと同じく漁師であった。洗礼者ヨハネに会い、ついでイエスの最初の弟子、使徒となった。彼は五千人の食事をまかなったが、その前に、パンと魚を抱えた少年をイエスの前に連れてきたと信じられている。アンデレは布教のために長大な道のりを旅した。彼が説教した場所は明らかでないが、ハンガリー、ロシア、ポーランドと同じく、黒海、小アジア(トルコ)、ギリシャがあげられる。パトラス(ギリシャ南部の町、パトラーともいう)で殉教したが、直立した十字架は畏れ多いとして、X字の十字架を選んだ。(11月30日は聖アンデレが殉教した日とされている)。



聖アンデレとスコットランドとのつながり

聖アンデレがなぜスコットランドの守護聖人になったのか、諸説がかなりある。その1つは、4世紀に聖アンデレの骨と遺物がスコットランドに伝来したというもの。もう1つは西暦800年代にピクト人の王、アンガス・マクファergusが戦いの前に空にXの十字架が現れ、それで聖アンデレを守護聖人にしたというものである。後者には尾ひれがつき、アンガス王は、夢の中に聖アンデレの幻影が現れて勝利を約束し、そのあと彼はX十字架を見たという。そしてもう1つは、セント・レギュラス(聖レグルス、4世紀のパトラスの僧侶)は、天使から聖アンデレの骨をパトラスから船で西方に持ち出すように言われ、船が難破したところに教会を建てよ、と告げられた。聖レグルスの船はキルリモン(セント・アンドルーズ町の古名)に漂着した。

聖アンデレの殉教(ベリー公の華麗な時祷書)



聖アンデレを描くステンドグラス(所在地未記載)

その起源が何であっても、聖アンデレへの帰依はマルカム・カンモア王とマーガレット王妃の治世中に聖アンデレの祝いが定められ、全国的になった。ウィリアム・ウォーレスの戦いでは「われらは聖アンデレの庇護にあり」が叫ばれ、バノックバーンの戦いでは聖アンデレの白い十字架が兵士の制服に縫いつけられた。1320年のアープブロス宣言(スコットランド独立宣言)には、聖アンデレがスコットランドの守護聖人として正式に表わされている。

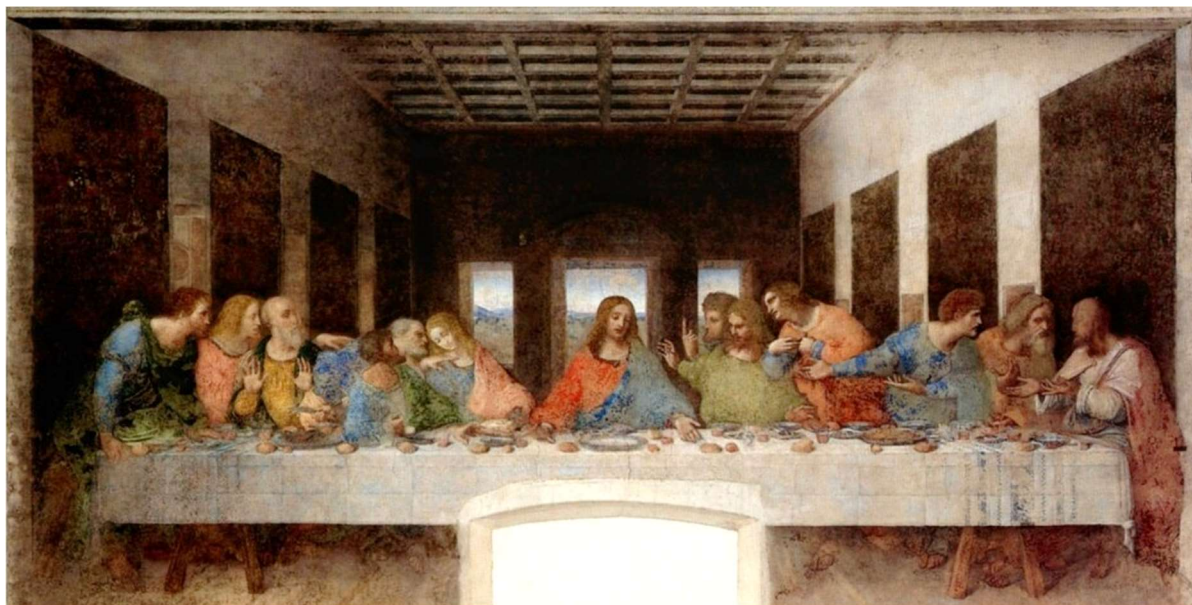
いつ、どこでセント・アンドルーズ・デイが祝われるようになったのか?

18世紀まで、スコットランドで聖アンデレを大々的に祝賀するのは一般的ではなかった。1729年にサウス・カロライナ州のスコットランド移民のグループが「チャールストン・セント・アンドルーズ協会」を設立した。2番目のセント・アンドルーズ協会は1747年にフィラデルフィアで設立され、アメリカで継続してチャリティ活動を行っているもっとも古い協会であると主張している。1756年のニューヨークでもセント・アンドルーズ協会が設立され、貧窮者を

助けるため、この街でスコットランド人によって作られ、慈善団体としてもっとも歴史のある協会である。

しかしながら、こんにちセント・アンドルーズ・デイはスコットランドの冬のフェスティバルの開始日とみなされている。つまり、セント・アンドルーズ・デイが最初で、ホグマニー、バーンズ・ナイトがそのあとにつづく。セント・アンドルーズ大学では何年も前から休日であった。そして2007年、スコットランド議会は11月30日を正式にバンク・ホリデー（銀行が休みなので国全体が休みになる）とした。

聖アンデレはスコットランドだけの守護聖人ではなく、11月30日はバルバドスとポーランドでも休日である。RSCDSにとって、その名は1937年に設立されたセント・アンドルーズ・ブランチを意味するだけでなく、サマースクール、諸クラス、ダンス会およびケイリ・ダンス会を意味している。



レオナルド・ダビンチ「最後の晩餐」で、左から3人目、両手を挙げおどろいているのがアンデレ。4人目ユダ。5人目、ヨハネに耳打ちしているのが兄のペトロ。

新 Book・CD 紹介

Tom Toriyama

今回は、以前にブックが出て、後追いでCDがリリースされたという2点のCDをご紹介します。

Auld Friends Meet … 2 枚組 CD

Muriel Johnstone (piano), Jim Linsay (accordion), Ian Robertson (fiddle & accordion), Keith Smith (fiddle), Gordon Smith (drums)

CD 1

1. A Tribute to Talent (96J)
2. Berwickshire Round Reel (64R)
3. An Ilkley Gift (8x32S)
4. East of Yeadon (8x32J)
5. Grimaldi 700 (88R)
6. The Lummermuir Hills (6x32S)
7. North West 50th (5x32R)
8. A Tribute to Trish (8x40J)
9. Auld Friends Meet (8x32S)
10. The Northern Lights (5x32R)

11. Hands Across the Water (8x32J)
12. Muse Cottage (3x32S)
13. The Balmullo Reel (88R)
14. Awa' O'er the Border (4x32J)
15. Entante Cordiale (96S)
16. Highveld Storm (8x32R)

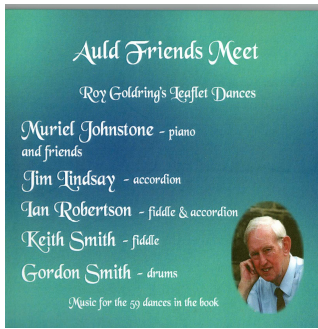
CD 2

1. Under African Skies (8x32R)
2. The Dumfries Lad (3x32S)
3. The Invitation Dance (8x32J)
4. Jim Johnstone's Strathspey (4x32S)

5. The Southern Cairn (8x32R)
6. The Morris Dancers (4x40J)
7. Twixt Silver and Gold (8x32S)
8. City of Stirling Reel (8x32R)
9. The Dyson Gold (5x32J)
10. King Over the Water (8x32S)
11. The Unicef Circle (88R)
12. The Judge's Jig (8x32J)
13. The Dancing Years (88R)
14. Quidenham (5x32S)
15. The Forth Railway Bridge Centenary Reel (4x32R)

ブックは2011年に発行されている。ロイ・ゴールドリングは生前に数々のブックを出版したが、創案したダンスのすべてがそれらのブックに載っているわけではない。リーフレットの形で公表したり、創案を頼まれたブランチに直に送ったりして、ブック化されなかったダン

スが数多くある。そういったブック化されなかった59のダンスをミュリエル・ジョンストン&ビル・ゾーベル夫妻が楽譜つきで132ページ、重さ480グラムのA4判1冊にまとめたものがAuld Friends Meetである。



音楽を出さなければせつかくの 59 ダンスが埋もれてしまうと、ロイと親しかったミュリエルが、12 年後に 2 枚組の CD を苦勞のすえ制作した。

ダンスは 59 もあるのに、CD は 31 トラックしかないではないか、と疑問に思われるかも

しれない。だが、安心していただきたい。たとえば、An Ilkley Gift のトラックには曲調が類似の Salt of the Earth, The Windswept Moors, Jean Dyson's Strathspey そして Millerton Brig のダンス音楽が入っている。というわけで、2 枚の CD で 59 のダンス全部がカバーされている。東京ブランチ 10 周年 (1994) 記念にロイが作ってくれた East of the Sun も CD 2 の第 12 トラックに入っていて、踊りはあまり面白くないが、演奏はなかなか良い。

演奏はミュリエルと仲間たち、息の合ったミュージシャンによるものである。31 トラックぜんぶを 5 人全員がそろって演奏しているわけではない。フィドルとピアノのみのトラックが 9 つある。またフィドラー 2 人、アコーディオンが 2 人であるが、キース・スミスが演奏しているのはどのトラックか、ジム・リンジーが弾いているのがどれか、残念ながら私にはわからない。CD 1 の第 10 と CD 2 の第 10 はキースとイアンのフィドル合奏でたいそう面白い。

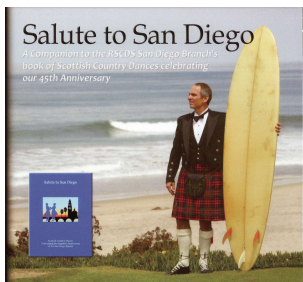
曲の内容はミュリエル作品が多い。全曲彼女の作品で占められているトラックもあるが、全曲トラディショナルとか、現代の他の作曲家だけのトラックもある。どのトラックをとってもすてきな演奏であり、ロイ・ゴールドリングの踊りが好きな人、ミュリエル・ジョンストンの演奏が好きな人は入手すべきであろう。★★★

この機にロイのダンスブック (ダイヤグラムはついていない) も入手したいという方のために、値が張るけれども、ブックのご注文もお受けする。【注文略号: オールドフレンズ CD および オールドフレンズ・ブック】

Salute to San Diego ... CD のみ

Caroline McCaskey (fiddle) and Andy Imbrie (piano)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. Salute to San Diego (8x32J) | 8. A-Ward Winning Reel (8x32R) |
| 2. Midsummer Moon (6x32S) | 9. Another Trip Around the Sun (2x40S) |
| 3. Kelly's Journey (8x32R) | 10. At Long Last (8x40J) |
| 4. Sierra Trails (4x32S, SQ) | 11. On the Fly (8x32R) |
| 5. Queen of Hearts (4x32R) | 12. Sophie's Farewell (3x32S) |
| 6. Paradise Dream (8x32J) | 13. McLaughlin's Reel (8x32R) |
| 7. San Diego Welcome (4x32S RTR) | |



象徴するように、サーフボードを支えるキルト姿の男性写真となっている。演奏はカロライン・マカスキーのフィドルとアンディ・インブリーのピアノである。ブック中オリジナル曲指定のあるダンスにはその曲が、指定のないものにはアンディやカロライン作曲の音楽が演奏されている。しっかりしたテンポ、ダンスにふさわしいノリで、トリッキーのない 13 ダンスによくマッチしている。ただし、ピアノはフィドル演奏を補完するべきで、主役になるのは控えろというのが私の考えだが、この

2020 年 7 月にご紹介したサンディエゴ・ブランチ 45 周年ブックの CD である。2020 年は年初からコロナ感染症が広がり、CD 制作もままならなかったようで、3 年経って付随 CD が発売された。ジャケットはサーフィンの盛んなサンディエゴを

CD は上記のミュリエル盤とは対照的にピアノが強い。CD 編集時にピアノの音量をもっと下げたらよかったのと思う。ダンシングにおいてはリズムが明確で、かえって踊りやすいかもしれない。以前、サンディエゴ・ブックをお求めになった方には、最適な CD が発売されたといえる。★★★【注文略号: サンディエゴ CD】

* * * * *

ご注文は注文略号、数量、金額を明記のうえ、郵便振替 00240-0-63517 東京ブランチでお申し込みください (送料込み)。

オールドフレンズ CD ¥4,800
オールドフレンズ・ブック ¥5,400
サンディエゴ CD ¥4,000

ショップ担当 大野宏子 042-576-9587
締切り 11月10日(金)

(締切りを過ぎての送金をご遠慮ください)

お渡し予定 12月中旬